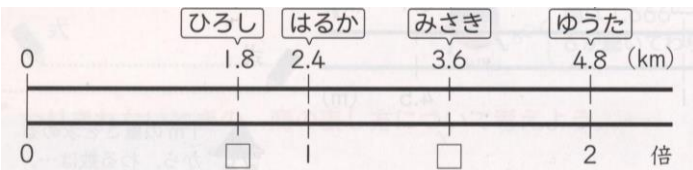


月日 (校時)	単元名	教材名										
6月24日 (月) 5校時	小数のわり算	小数のわり算を考えよう										
本時のねらい (9/14) ○比較量、基準量が小数の場合も倍を求める時は除法を用いればよいことを理解する。												
評価規準 考 比較量、基準量が小数の場合でも「倍」を求めるには除法を使うことを数直線、言葉、式で説明している。(ノート・発言)												
学習過程	学習活動 (○発問・予想される児童の反応)	留意事項・評価										
<b>【導入】</b> <b>1:30</b>	○まとめ、ふり返りをペアで伝え合しましょう。	・前時の学習のふり返りをする。										
<b>【展開】</b> 問題提示 <b>1:32</b> 見通し  課題把握 <b>1:37</b>  <b>1:42</b>  自力解決 集団解決 ・班学習  ・全体学習 <b>1:50</b>  ・考察 <b>2:05</b> まとめ <b>2:07</b>	1 問題を読む。 右の表は、はるかさんたちの家から駅までの道のりを表しています。はるかの道のりをもとにするとほかの人の道のりは、それぞれ何倍ですか ○問題を見て聞かれていることや求め方を考えましょう。 今日は何倍かを求める問題になっている。 この問題はわり算です。理由は「倍」を求める時はわり算を使うからです。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>家から駅までの道のり</caption> <thead> <tr> <th>名前</th> <th>道のり(km)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>はるか</td> <td>2.4</td> </tr> <tr> <td>ゆうた</td> <td>4.8</td> </tr> <tr> <td>みさき</td> <td>3.6</td> </tr> <tr> <td>ひろし</td> <td>1.8</td> </tr> </tbody> </table> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">                         もとにする数が小数になる問題の計算の仕方を数直線を使って説明しよう。                     </div> シラバス：(一人学び(8分)・班学び(6分)・学び合い(10分)・まとめ(3分)・振り返り(8分)) 言語わざ：「つまりを使って説明する」 キーワード： <u>わる数</u> <u>わられる数</u> <u>商</u> <u>倍</u> <u>数直線</u> <u>もとにする数</u> <u>くらべられる数</u>  3 ○はるかの家から駅までの道のりをもとにする時、みさき、ひろしは何倍になるか考えましょう。 4 ○考えた事を班で伝え合ってください。話し合いが終わった班は、まなボードを使ってみさきとひろしの計算の仕方を話し合ってください。 5 考えたことを説明する。 ○それぞれの班のまなボードを見て、みさきとひろしの計算の仕方はどうなるか発表して下さい。 ・みさきの式は $3.6 \div 2.4$ になります。なぜなら、ゆうたは2倍と求められているが、その時の式は $4.8 \div 2.4$ で求めることができます。つまり比べられる数はわられる数にきて、もとにする数はわる数に来るので $3.6 \div 2.4$ になります。その考え方をうと、ひろしも $1.8 \div 2.4$ で求めることができます。 ・「小数のかけ算」で学習したように「倍」を求める時はわり算を使い、もとにする数がわる数に来ることを学習したので、その考え方をうと、みさきは $3.6 \div 2.4$ 、ひろしは $1.8 \div 2.4$ になります。 ○今日の学習からもとにする数が小数の問題が出てきた時に大切なことはなんですか。 ・もとにする数が小数になる問題の計算の仕方は、整数の時と同じように比べられる数がかげられる数にきて、もとにする数はわる数にくる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">                         ・もとにする数が小数になる問題の計算の仕方は、整数の時と同じように比べられる数がかげられる数にきて、もとにする数はわる数にくる。                     </div>	名前	道のり(km)	はるか	2.4	ゆうた	4.8	みさき	3.6	ひろし	1.8	・見通しの活動で数直線を書いて確認することで、視覚的に問題の意味を捉えやすくする。 ・ゆうたの計算のしかたを確認する。 ・考え方はゆうたの道のりの考え方、整数の時に学習した「倍」の計算の求め方を使って考えることを確認する。 ・ハンドサインチェックを行い、見通しが立つようににする。*リーダー  ・考え方が分からない児童は、友だちの考えを自由に見にいのように伝える。  ・グループの手引きを見ながら、話し合いをさせる。 ・数直線を使って説明するように促す。  ・二つのグループに分けて話し合いを進める。  考 比較量、基準量が小数の場合でも「倍」を求めるには除法を使うことを数直線、言葉、式で説明している。(ノート・発言)
名前	道のり(km)											
はるか	2.4											
ゆうた	4.8											
みさき	3.6											
ひろし	1.8											
<b>【終末】</b> 振り返り	5 学習したことを振り返る。	・キーワードを使って5行以上振り返りを書くように促す。										